

令和4年度第3回天童市教育委員会について（報告）

日 時 令和4年6月23日（木）午前10時から11時35分まで  
場 所 天童市教育委員会 第1会議室  
出席委員 相澤一彦教育長、工藤昭広委員、村山晴香委員、松村昌子委員、  
大内あゆ子委員  
出席者 武田文敏教育次長兼教育総務課長、鎌田さとみ学校教育課長、  
矢萩茂生涯学習課長、大沼敦学校給食センター所長、  
事務局（教育総務課職員）

議 事 なし

報 告

（1）学校教育課

- ア 生徒の長距離通学について
- イ 東村山地区中学校総合体育大会の結果について

（2）生涯学習課・学校給食センター

- ア 令和4年度教育委員会所管6月追加補正予算について

各課からの連絡

（1）教育総務課

- ・令和5年度天童市重要事業要望活動の実施について
- ・通学路の安全対策、合同安全点検の実施について
- ・天童・東村山地区教育委員会協議会の開催について

（2）学校教育課

- ・学校訪問（山口小学校）の実施について
- ・学校における新型コロナウイルス感染症の感染状況について

（3）生涯学習課

- ・教育委員会委員の行政視察研修について
- ・学習支援室ちえふるの改修について
- ・明治大学との連携講座実施について

（4）学校給食センター

- ・から弁解消に向けた食器洗浄機、食器購入について
- ・7月の特別献立給食について

## <教育長あいさつ>

---

季節は夏至を迎え、今年のサクランボの出来も昨年度までの霜の害もなく順調に収穫を迎えているようです。住みよさランキングで、本市が県内で1位となりました。誇りを持ちながら、これからもより良いまちにしていきたいと思えます。

新型コロナウイルス感染症対策の現在の課題は、子どもたちがマスクを外すか、外さないかということです。国や県で示した基準でできれば、熱中症対策を第一に考え、登下校や体育では外していきたいと考えております。

次に、生涯学習施設のデジタル化について、W i F i 環境の整備は課題があります。例えばコンビニにもW i F i がありますが、そこに若者がスマホを持って夜遅くまで屯っている。公民館でも同じような状況にならないか。また、W i F i を何の目的で整備し、どのように活用していくか課題があります。干布公民館の改築では、W i F i 環境整えますが使い方等を研究しながらどのような課題があるか整理していきたいと思えます。それから、もっと簡単な仕組みでできないかということ津山公民館と山口公民館で行っております。また、オンラインによる公民館長同士の会議もしていかなければと思えます。

市立図書館にあるコワーキングスペースは、すでにW i F i ができる環境になっています。また、パルテにある学習支援室ちえふるでも、W i F i 環境を整えていきます。将来の市役所手続きのオンライン化に向けて、公民館をはじめW i F i 環境が整っている場所で手続きができるなど、いつでもどこでも手軽にできるようになればいいと思えます。

次に、学校給食のから弁当が、今年の夏以降になくなります。また炊飯について、天童市で独自に炊飯施設を設置していきます。

結びに、来月東京で教育委員会の視察研修を行います。よろしくお願ひいたします。また、報告では遠距離通学の在り方について、委員の皆さまからさまざまなご意見をいただきたいと思えます。

## < 報 告 >

---

### (1) 学校教育課

#### (ア) 生徒の長距離通学について

#### 意見等

大内委員：長岡地域では、学区の話題は長岡地域まちづくり懇談会をはじめ10年以上も前から出ている。ほかの学区からも同じ話題は出ていないか。

長岡地域に住んで、自分の子どもを中学校に通わせたとき、最初は1時間も歩かせるのはどうかと思った。しかし、やればできるんだなと思ったところもあり、なかなか大変なこともあるが自転車通学もでき現状で構わないと思う。

教育長：学区の境界としてバイパスがあるが、第二中と第四中の境目からはこのような意見はほとんどない。それは、天童中部小の子どもが中学校で第二中と第四中の二つに分かれることになるからだと思う。長岡地域の場合、長岡小のすべての子どもを学区変更して第一中に通うことを前提となっているので、話題になりやすいのだと思う。

工藤委員：長い人生を考えると3年間の経験も大事だと思う。指定校の変更など選択肢を広げてもらえれば、今の時代にあったものになるのではないかな。

松村委員：私の中学時代も実家から第一中までの4キロ近くを徒歩で通った。毎日へとへとなりながら通った記憶がある。しかし、その3年間があつて心身ともに強くなった。

現状をしっかりと掴んでいきながら、家庭と相談できる余地があるのはすごくいいことだ。結果ではなくて、子どもや保護者とのコミュニケーションを取り通学の要望などを受け入れてもらえれば、家庭からの不満はなくなる。現実の安心、安全が脅かされるものがあつた場合、その時にきちんと対応していけば、今は現状のままでもいいのではないかな。

村山委員：私の子ども時代も隣の学校の方が自宅に近いという環境だった。通学距離が長く親も心配だったのではと思うが、その分心身共に強くなった。

タブレットなど荷物が多くなっていること、冬場の降雪時に家庭の事情で送迎ができない家庭もあるのではないかな心配だ。

教育長：ご意見の中に荷物の問題があつたが、荷物を減らす配慮はできる。指定校変更による選択肢を広げる余地や自転車通学など、保護者や地域住民の意見を聴きながら長距離通学について今後も対応していきたい。

## < 報 告 >

---

### (1) 学校教育課

#### (イ) 東村山地区中学校総合体育大会の結果について

意見等 特になし。

## < 報 告 >

---

### (2) 生涯学習課・学校給食センター

#### ア 令和4年度教育委員会所管6月追加補正予算について

意見等 特になし。

< その他 >

---

村山委員：中学生の徒歩通学の場合、今の時期、熱中症が心配されるので帽子を被ることは認められないか。また、第二中では、髪型で二つ結びが禁止されている。一つ結びでは帽子がかぶりづらい。

学校教育課長：夏場の熱中症予防の意味でも、学校の方に話をしてみたい。

大内委員：新型コロナ禍における地区レクレーション実施について、何かあった場合の責任の在り方など各地域で悩んでいる。市として地区レクレーションの基本的なあり方についてガイドラインのようなものがあればいいと思う。

生涯学習課長：先行してできるところとできないところの地域差がある。先行している地域を参考にしてもらいたい。基準づくりについて検討したい。

工藤委員：5月31日に山形県市町村教育委員会協議会定期総会に出席した。県教育長から、今後の中学生の部活動のあり方について、県の考え方を聴くことができた。新しい山形商業高校を視察してきた。

教育長：その他意見なし。以上で令和4年度第3回教育委員会会議を終了します。